

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	道路等管理事業		
部局名	建設部	課(室)名	土木総務課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 2 生活に身近な道路を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	～ 永年	目	0 1 道路橋梁総務費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	0 0 5 道路等管理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	市内には狭い道路も多いため、円滑な交通を妨げるだけでなく、防災面においても課題となっている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
地域内道路の利用者	●市道の認定、廃止及び変更に係る協議及び法定手続き ●市道等の隣接地との境界協定及び道路区域明示 ●管理瑕疵に係る事故に対する損害賠償	地域内道路の適正な管理により、利用者が安全かつ快適に利用できるようにする				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		5,878	2,588		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	市民からのニーズに対応した道路の維持管理を進めている。
--	-----------------------------

※事業費と財源内訳

決算額	2,588	内訳	国費	県費	市債	他	一般	2,588
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	道路施設等管理事業（土木総務課）		
部局名	建設部	課(室)名	土木総務課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 2 生活に身近な道路を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	～ 永年	目	0 1 道路橋梁総務費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	0 2 1 道路施設等管理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	道路法		

【現状と課題】

現状と課題	毎年、多数の車両等の物件が道路上に不法放置され、交通安全の観点から、これに対応しなければならない。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象（だれ・何に対して）	手段（どういった方法で）				意図（どのような状態にする）	
市内の加古川市が管理する道路（市道、里道など）	放置車両等不法占用物件を指導・撤去する				一般通行に支障がないようにする	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円			283		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】（妥当性・有効性・効率性の視点から評価）

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】（上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価）

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	道路は日常生活を支える社会基盤として安全で良好な状態にしておくことが求められる。そのために本事業を継続する必要がある。
--	---

※事業費と財源内訳

決算額	283	内訳	国費	県費	市債	他	一般	283
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	駅前広場等維持管理事業		
部局名	建設部	課(室)名	土木総務課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 2 生活に身近な道路を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	～ 永年	目	0 2 道路橋梁維持費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	0 2 5 駅前広場等維持管理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	道路法第24条の2に基づき駐車料金を徴収する自動車駐車場に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	駅周辺利用者の通行の安全を確保するよう、速やかな修繕による維持管理を実施しているが、経年による修繕が年々増加している。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)				意図 (どのような状態にする)	
J R 加古川駅前南北広場及び自由通路・J R 東加古川駅前南北広場及び自由通路・J R 厄神駅前南北広場及び自由通路・J R 宝殿駅前南北広場及び自由通路等	J R 沿線の主要駅の駅前広場を維持管理し、速やかな修繕を行なう。				駅周辺利用者の通行の安全を確保する。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		41,179	44,323		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
主要駅前広場等を、利用者の通行の安全と市の玄関口として快適な空間に保つために、本事業を継続する必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	44,323	内訳	国費	県費	市債	他	6,769	一般	37,554
-----	--------	----	----	----	----	---	-------	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	道路台帳整備事業		
部局名	建設部	課(室)名	土木総務課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 2 生活に身近な道路を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	昭和27年度～ 永年	目	0 1 道路橋梁総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	0 0 5 道路等管理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	道路法		

【現状と課題】

現状と課題	昭和59年道路台帳を充実させるため、業者委託している。
-------	-----------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
道路台帳閲覧者・市(道路管理者)・道路利用者	現存の道路台帳に、認定・廃止の市道を台帳に記載・変更する。	道路の区域、構造、兼用工作物、占用物件等を総括して把握しておく。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
道路台帳	冊		1	1		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
道路台帳	冊		1	1		

活動指標分析結果	毎年、市道として認定された道路を把握し台帳に反映する。			
事業費	千円		8,925	9,450

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
道路台帳整備	冊			1	1	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			1	1		
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	毎年、市道として認定された道路を把握し、正確に台帳反映させている。
----------	-----------------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度/義務的事業
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(大)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	義務的事務である。
--	-----------

※事業費と財源内訳

決算額	9,450	内訳	国費	県費	市債	他	一般	9,450
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	緊急雇用対策道路施設維持点検事業（土木総務課）		
部局名	建設部	課(室)名	土木総務課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 2 生活に身近な道路を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	平成25年度～平成25年度	目	0 2 道路橋梁維持費
事業区分	⑥市施策事業（臨時）	細目	0 1 8 緊急雇用対策道路施設維持点検事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	防犯灯台帳・道路反射鏡台帳の整備が完了した。
-------	------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象（だれ・何に対して）	手段（どういった方法で）	意図（どのような状態にする）				
「緊急に雇用を必要とする人」と「防犯灯台帳・道路反射鏡台帳」	防犯灯台帳・道路反射鏡台帳の整備を緊急雇用として行う。	「防犯灯台帳・道路反射鏡台帳の整備」と「雇用が必要な失業者の雇用」				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
緊急雇用嘱託職員数	人			2		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
緊急雇用嘱託員職員数	人			2		
活動指標分析結果	緊急雇用として2名を雇用し、防犯灯台帳・道路反射鏡台帳を整備することができた					
事業費	千円			3,677		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
事業終了後の継続雇用者数	人				0	平成27年度
					1	
成果指標分析結果	事業終了後、1名が他部署に雇用された					

【個別評価】（妥当性・有効性・効率性の視点から評価）

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	事業完了
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は小
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要がありますか。	評価	意図を変える必要がある
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握していない
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	事業完了
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	事業完了
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	事業完了
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地がありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】（上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価）

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
平成25年度限りの事業である

※事業費と財源内訳

決算額	3,677	内訳	国費	県費	3,677	市債	他	一般
-----	-------	----	----	----	-------	----	---	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	道路施設等管理事業		
部局名	建設部	課(室)名	道路保全課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 2 生活に身近な道路を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	～ 永年	目	0 1 道路橋梁総務費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	0 2 0 道路施設等管理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	道路法		

【現状と課題】

現状と課題	管理道路が増加する中、市民からの通報や職員による道路パトロールにより現地調査をし、補修工事を行っている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
市内の道路 (市道、里道、生活道路)	道路維持管理に係る消耗品の購入、技術習得のために講習会への参加、土木積算システムの使用料	道路維持管理に係る消耗品を購入すると共に、維持管理のための技術を習得する。(道路の維持管理の円滑化を図る)				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		524	192		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
社会基盤である道路の管理について、多様な要望に対応することから、技術習得等を図っている。

※事業費と財源内訳

決算額	192	内訳	国費	県費	市債	他	一般	192
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	道路等管理事業（道路保全課）		
部局名	建設部	課(室)名	道路保全課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 2 生活に身近な道路を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	～ 平成25年度	目	0 1 道路橋梁総務費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	0 0 6 道路等管理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	プログラムの修正により県の積算基準に合致したシステムになっている
-------	----------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象（だれ・何に対して）	手段（どういった方法で）	意図（どのような状態にする）				
道路維持管理にかかる積算システムのプログラム維持	プログラム修正	積算基準の改訂に沿った積算を行う				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円			3,427		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】（妥当性・有効性・効率性の視点から評価）

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】（上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価）

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
平成26年度より、兵庫県下の市町により、共同で作成されたシステムを使用するため加古川市独自のプログラムの修正はなくなった

※事業費と財源内訳

決算額	3,427	内訳	国費	県費	市債	他	一般	3,427
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	道路維持補修事業		
部局名	建設部	課(室)名	道路保全課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 2 生活に身近な道路を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	～ 永年	目	0 2 道路橋梁維持費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	0 1 5 道路維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	道路法		

【現状と課題】

現状と課題	管理道路が増加する中、定期的な剪定、除草業務にあわせ、市民からの通報や職員による道路パトロールにより現地調査をし、業務を行っている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
市内の道路 (市道、里道、生活道路)	道路の清掃、街路樹等の維持管理を委託業者に発注する。	一般通行に支障がないようにする。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		120,817	123,102		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
限られた予算の中で、道路内施設の清掃、除草、街路樹の剪定等を適正に執行した。

※事業費と財源内訳

決算額	123,102	内訳	国費	県費	市債	他	一般	123,102
-----	---------	----	----	----	----	---	----	---------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	緊急雇用対策道路施設維持点検事業		
部局名	建設部	課(室)名	道路保全課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 2 生活に身近な道路を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	平成25年度 ～ 平成25年度	目	0 2 道路橋梁維持費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	0 1 7 緊急雇用対策道路施設維持点検事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	道路法		

【現状と課題】

現状と課題	道路施設の状況把握が出来た
-------	---------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
市が実施する事業	市道の道路施設の点検調査を行う				道路施設の効率的管理を図る	
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
道路台帳		冊			22	
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
道路台帳		冊			22	22
活動指標分析結果	市道内の道路施設の点検調査を行い、台帳整備を行った。					
事業費		千円			10,973	
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
道路台帳整備		冊			22	22 平成25年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	道路施設の現状確認ができ、台帳管理が行えるようになった。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
道路施設の現状把握を行い、適正な維持管理を行っていくため、今後の維持修繕工事の基礎資料となった。

※事業費と財源内訳

決算額	10,973	内訳	国費	県費	10,973	市債	他	一般
-----	--------	----	----	----	--------	----	---	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	生活道路整備事業		
部局名	建設部	課(室)名	道路保全課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 2 生活に身近な道路を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	平成12年度～平成25年度	目	0 2 道路橋梁維持費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 0 5 生活道路整備事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	加古川市生活道路整備要綱		

【現状と課題】

現状と課題	市民の日常生活の利便の向上、生活環境の整備及び災害時における安全の確保が図られている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
市内の狭小市道、道路利用者(通過車両、市民)	狭小な市道に接した建築行為がなされる土地の一部を買収し、市道として拡幅整備工事を行う。	狭小な市道を拡幅し、車両交通の円滑化、歩行者・自転車の安全を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
対象道路の延長距離	m	143	59	39		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
今年度に整備された道路の延長距離	m			39	39	

活動指標分析結果	平成25年度は、1件の工事を実施し、1路線の市道拡幅を行った。			
事業費	千円	15,005	3,226	3,632

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
道路整備率	%		100	39	100	平成25年度
上段:計画値/下段:実績値		59	84	100		
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	平成25年度をもって生活道路整備事業は完了した。
----------	--------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響はない
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	事業完了
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 生活道路整備事業に代わる狭あい道路整備要綱に基づいた市道の整備手法が制定されたため、平成23年6月以前に整備協定を締結している案件を順次整備し、事業完了となった。

※事業費と財源内訳

決算額	3,632	内訳	国費	県費	市債	他	3,100	一般	532
-----	-------	----	----	----	----	---	-------	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	道路補修事業		
部局名	建設部	課(室)名	道路保全課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 2 生活に身近な道路を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	～ 永年	目	0 2 道路橋梁維持費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 1 0 道路補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	道路法		

【現状と課題】

現状と課題	管理道路が増加する中、市民からの通報や職員による道路パトロールにより現地調査を行い補修工事を行っている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)					
市内の道路 (市道)	道路路面の損傷等危険箇所を補修する。	一般通行に支障がないようにする。					
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
加古川市市道総延長		k m		1,059.3	1,068		
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
道路補修工事延長		m		1,848	1,642		
活動指標分析結果	平成25年度は道路補修工事を1,642m施行した。						
事業費		千円		50,043	71,345		
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
道路補修工事整備率		%				100	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値				100	100		
上段:計画値/下段:実績値							
上段:計画値/下段:実績値							
成果指標分析結果	平成25年度は予定していた区間を全て施工した。						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事业
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
路面性状調査結果に基づき、舗装補修を行った。

※事業費と財源内訳

決算額	71,345	内訳	国費	35,750	県費		市債	22,600	他		一般	12,995
-----	--------	----	----	--------	----	--	----	--------	---	--	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	小規模道路整備事業		
部局名	建設部	課(室)名	道路保全課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 2 生活に身近な道路を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	～ 永年	目	0 2 道路橋梁維持費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 2 0 小規模道路整備事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	道路法		

【現状と課題】

現状と課題	管理道路が増加する中、市民からの通報や職員による道路パトロールにより現地調査を行い必要に応じて補修等の対応を行っている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
市内の道路 (市道、里道、生活道路)	道路パトロールや地元・一般市民から得た情報で舗装・路肩・側溝等の破損崩壊した箇所を補修する。この事業は直営と工事請負に分類し、特に緊急を要する箇所や比較的小規模な工事を直営で実施し、それ以外の維持・補修工事は請負業者に発注する。	一般通行に支障がないようにする。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
加古川市市道総延長	k m	1,052.5	1,059.3	1,068		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
道路パトロール回数	回	485	485	485		
直営工事件数	件	987	995	1,129		
委託工事件数	件	231	207	135		
活動指標分析結果	平成25年度は道路パトロールを485回、直営工事を1,129件、委託工事を135件行った。					
事業費	千円	225,000	219,995	179,411		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
管理瑕疵による事故件数	件				0	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値		3	4	2		
道路管理に関する要望件数	件				150	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値		234	204	172		
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	管理瑕疵による事故件数は前年度4件に対し、2件減少している。道路管理に関する要望は前年度204件に対し32件減少している。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 道路は日常生活を支える社会基盤であり、常に安全で良好な状態を保つ必要があることと、道路管理に関する要望件数は今後も多いと考えられるため、本事業を継続していく必要がある。
--

※事業費と財源内訳

決算額	179,411	内訳	国費	県費	市債	他	一般	179,411
-----	---------	----	----	----	----	---	----	---------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業		
部局名	建設部	課(室)名	道路保全課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 2 生活に身近な道路を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	平成23年度～永年	目	0 2 道路橋梁維持費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 5 5 橋梁長寿命化修繕事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	道路法		

【現状と課題】

現状と課題	15m以上の橋梁の長寿命化修繕計画策定が完了したので、計画的な予防修繕を行う。また損傷が著しい橋梁について補修工事を行う。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
15m以上の道路橋及び横断歩道橋	平成23年度と平成24年度に橋梁点検委託を行っており、平成25年度に橋梁長寿命化修繕計画策定業務を委託業者に発注する。また補修を要する橋梁について橋梁補修工事を工事業者に発注する。	橋梁長寿命化修繕計画を策定することにより、計画的な橋梁修繕を行うようにする。また橋梁補修工事を行うことにより、一般通行に支障がないようにする。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度
加古川市道における15m以上の道路橋及び横断歩	橋		102	102

活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
加古川市橋梁長寿命化修繕計画策定業務	橋			102		
橋梁補修工事	橋			1		

活動指標分析結果	平成25年度は橋梁長寿命化修繕計画策定を102橋行い、橋梁補修工事を1橋繰越工事で行っている。
----------	---

事業費	千円		11,687	17,045
-----	----	--	--------	--------

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
加古川市橋梁長寿命化修繕計画策定業務	橋			102	863	平成28年度
橋梁補修工事	橋			1	16	平成28年度

成果指標分析結果	平成25年度は予定していた業務を全て行なった。
----------	-------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 全管理橋梁のうち、102橋について長寿命化修繕計画を策定し、市ホームページにおいて公表を行った。また橋梁上部工撤去、下部工補修工事を行っており、平成26年度へ繰り越している。

※事業費と財源内訳

決算額	17,045	内訳	国費	9,295	県費	市債	6,800	他	一般	950
-----	--------	----	----	-------	----	----	-------	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	道路新設改良に要する一般的経費		
部局名	建設部	課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 2 生活に身近な道路を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	～ 永年	目	0 3 道路新設改良費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	0 0 5 道路新設改良事業
地区別	その他		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	市内幹線道路の整備と連携し、地域内道路の新設や拡幅整備などを計画的・効果的に実施することにより、危険箇所が改善が図られている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
市内の狭小市道	道路の新設・拡幅整備工事を行う。	工事を実施したことで危険箇所が改善された。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		764	833		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 円滑に道路新設改良事業を執行するため、現状を維持することが適切である。

※事業費と財源内訳

決算額	833	内訳	国費	県費	市債	他	一般	833
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	先行取得用地維持補修事業（道路建設課一道路新設改良費）		
部局名	建設部	課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 2 生活に身近な道路を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	～ 永年	目	0 3 道路新設改良費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	0 1 5 先行取得用地維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	先行取得した用地について、工事着手まで期間を要するため、除草や清掃等の現場管理が必要である。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象（だれ・何に対して）	手段（どういった方法で）	意図（どのような状態にする）				
先行取得用地	先行取得した用地の除草、清掃を行う。	事業着手までの期間について、除草、清掃を行うことで土地の適正な維持管理を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		1,112	979		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】（妥当性・有効性・効率性の視点から評価）

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】（上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価）

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
先行取得用地の除草・清掃等により、適正な維持管理が図られているため、現状を維持することが適切である。

※事業費と財源内訳

決算額	979	内訳	国費	県費	市債	他	一般	979
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	道路新設改良事業		
部局名	建設部	課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 2 生活に身近な道路を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	～ 永年	目	0 3 道路新設改良費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 0 5 道路新設改良事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	道路法		

【現状と課題】

現状と課題	市内幹線道路の整備と連携し、地域内道路の新設や拡幅整備などを計画的・効果的に実施することにより、危険箇所の改善が図られている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)
市内の狭小市道	道路の新設・拡幅整備工事を行う。	工事を実施したことで危険箇所が改善された。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
対象道路の延長	m		1,570	950		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
事業路線数	路線		5	7		

活動指標分析結果	平成25年度は、設計・測量、道路改良工事、用地買収、物件補償を行った。		
事業費	千円	51,878	68,158

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
事業進捗率	%		85.4	67.3	100	平成27年度

成果指標分析結果	引き続き道路整備をしていく必要がある。
----------	---------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事业
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要がありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
予算の適正な執行により円滑に事業の推進が図られたが、未だ地元町内会等からの拡幅要望は多数あり、事業の拡充により、更なる安全性の向上が必要である。	

※事業費と財源内訳

決算額	68,158	内訳	国費	県費	市債	60,000	他	一般	8,158
-----	--------	----	----	----	----	--------	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	交差点等改良事業		
部局名	建設部	課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 2 生活に身近な道路を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	～ 永年	目	0 3 道路新設改良費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 0 5 道路新設改良事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	道路法		

【現状と課題】

現状と課題	市内幹線道路の整備と連携し、地域内道路の拡幅整備や交差点改良を計画的・効果的に実施することにより、危険箇所が改善が図られている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)
市内の狭小市道	交差点等改良工事を行う。	工事を実施したことで危険箇所が改善された。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
対象路線数	路線		2	2		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
事業交差点等箇所数	箇所		2	2		

活動指標分析結果	平成25年度は、用地測量、用地買収、物件補償を行った。		
事業費	千円	6,940	15,678

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
事業進捗率	%		97.6	66.8	100	平成27年度

成果指標分析結果	引き続き交差点等を改良していく必要がある。
----------	-----------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事业
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要がありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
予算の適正な執行により、円滑に事業の推進が図られたが、未だ地元町内会等からの改良要望は多数有り、事業の拡充により、更なる安全性の向上が必要である。

※事業費と財源内訳

決算額	15,678	内訳	国費	県費	市債	他	一般	15,678
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	市道宗佐32号線道路改良事業		
部局名	建設部	課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	08 土木費
施策	02 生活に身近な道路を整備する	項	02 道路橋梁費
期間	～ 平成29年度	目	03 道路新設改良費
事業区分	⑦投資事業	細目	005 道路新設改良事業
地区別	加古川北地区		
関連根拠法令等	道路法		

【現状と課題】

現状と課題	道路拡幅を実施することにより、危険個所の改善が図られている。
-------	--------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)					
狭小市道	道路の拡幅整備工事を行う。	工事を実施したことで危険個所が改善された。					
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
対象道路の延長		m			40		
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
事業区間		区間			1		
活動指標分析結果	平成25年度は、公社買戻、道路改良工事を行った。						
事業費		千円			8,457		
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
事業進捗率		%			88.8	100	平成29年度
上段:計画値/下段:実績値							
上段:計画値/下段:実績値							
上段:計画値/下段:実績値							
成果指標分析結果	引き続き道路整備をしていく必要がある。						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事业
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
予算の適正な執行により、円滑に事業の推進が図られた。

※事業費と財源内訳

決算額	8,457	内訳	国費	県費	市債	他	8,457	一般
-----	-------	----	----	----	----	---	-------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	緊急対策踏切改良事業		
部局名	建設部	課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 2 生活に身近な道路を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	～ 平成30年度	目	0 3 道路新設改良費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 0 5 道路新設改良事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	道路法、踏切道改良促進法		

【現状と課題】

現状と課題	市内幹線道路の整備と連携し、踏切幅などを計画的・効果的に実施することにより、危険箇所が改善が図られている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
歩道が無い又は狭隘な踏切など	踏切幅幅工を行う。	工事を実施したことで、危険箇所が改善された。				
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
対象踏切の箇所数		箇所		3	2	
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
事業踏切箇所数		箇所		3	2	目標年度
活動指標分析結果	平成25年度は、設計・測量、踏切改良工事を行った。					
事業費		千円		32,931	41,539	
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
事業進捗率		%		99.7	91.4	100
上段:計画値/下段:実績値						平成30年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	引き続き踏切道整備をしていく必要がある。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事业
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要がありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地がありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
予算の適正な執行により、円滑に事業の推進が図られた。

※事業費と財源内訳

決算額	41,539	内訳	国費	15,148	県費	市債	11,200	他	一般	15,191
-----	--------	----	----	--------	----	----	--------	---	----	--------